

令和 6 年度 公共用水域の水質測定結果の概要

(令和 6 年 1 2 月現在)

1. 公共用水域における水質測定

(1) 測定項目

①環境基準項目・・・40項目

・人の健康の保護に関する環境基準項目（27項目）

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、フッ素、ホウ素、1,4-ジオキサン

・生活環境の保全に関する環境基準項目（9項目）

水素イオン濃度（pH）、溶存酸素、BOD、COD、浮遊物質（SS）、大腸菌数、n-ヘキサン抽出物質（油分等）、全窒素、全リン

・水生生物保全環境基準等の項目（4項目）

全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、底層溶存酸素量

②環境基準項目以外の項目・・・16項目

天候、気温、水温、透視度、色相、臭気、銅、全亜鉛、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、全有機性窒素、無機性リン、電気伝導率、塩化物イオン、陰イオン界面活性剤

(2) 測定地点、測定頻度

測 定 地 点	測定頻度
環境基準地点 環境基準の維持達成状況を把握	年 1 2 回程度
補足地点 環境基準地点における測定を補助	年 4 回程度
一般地点 上記以外の地点における補完的な調査	年 4 回程度

※測定地点は当該地点の利水状況や工場等の発生源の状況、測定頻度は過去の水質測定結果を考慮して、効率化を図ることができる。

(3) 評 価

環境基準の類型指定を行った水域等について達成状況を評価する。

2. 水質測定結果の概要

(1) 水域及び測定地点数

区 分	あてはめ 水域数	測定地点数			
		県	国土交通省	金沢市	計
河 川	49	99	6	45	150
湖 沼	3	8	0	0	8
海 域	11	32	0	6	38
計	63	139	6	51	196

(2) 環境基準の達成状況

①人の健康の保護に関する環境基準項目

区 分	水域数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度 (令和 6 年 12 月現在)
河 川	31	31 (100%)	31 (100%)	31 (100%)
湖 沼	3	3 (100%)	3 (100%)	3 (100%)
海 域	2	2 (100%)	2 (100%)	2 (100%)
計	36	36 (100%)	36 (100%)	36 (100%)

②生活環境の保全に関する環境基準項目

(ア) BOD又はCOD（有機物による汚濁の程度を表す指標）

区 分	あてはめ 水域数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度 (令和 6 年 12 月現在)
河 川	49	46 (94%)	47 (96%)	46 (94%)
湖 沼	3	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
海 域	11	11 (100%)	11 (100%)	10 (91%)
計	63	57 (90%)	58 (92%)	56 (89%)

(イ) 全窒素及び全リン（閉鎖性水域における植物プランクトン増殖の指標）

区分	項目	あてはめ 水域数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度 (令和 6 年 12 月現在)
湖沼	全窒素	3	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	全リン	3	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
海域	全窒素	2	2 (100%)	2 (100%)	2 (100%)
	全リン	2	2 (100%)	2 (100%)	2 (100%)